

# 個人投資家様向け会社説明会

---



2025年 6月4日  
多木化学株式会社  
証券コード：4025

取締役上席執行役員 井筒 裕之

# 本日のご説明内容

---

1. 会社概要

---

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

---

3. 業績・財務状況

---

4. 株主還元・株価推移

---

5. サステナビリティへの取り組み

---

6. おわりに

---

# 本日のご説明内容

---

## 1. 会社概要

---

## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

---

## 3. 業績・財務状況

---

## 4. 株主還元・株価推移

---

## 5. サステナビリティへの取り組み

---

## 6. おわりに

---

# 1. 会社概要

## グループ理念

多木化学グループは創業者精神に則り自然と環境を守り  
確かな価値の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献します

社 名：多木化学株式会社  
(英文社名：Taki Chemical Co., Ltd.)

本社所在地：兵庫県加古川市別府町新野辺3050番地

創 業：1885年3月 創業140年

代 表 者：代表取締役社長 多木 勝彦

上場取引所：(東証)プライム市場  
(証券コード：4025)

社章：「神代鋤印」



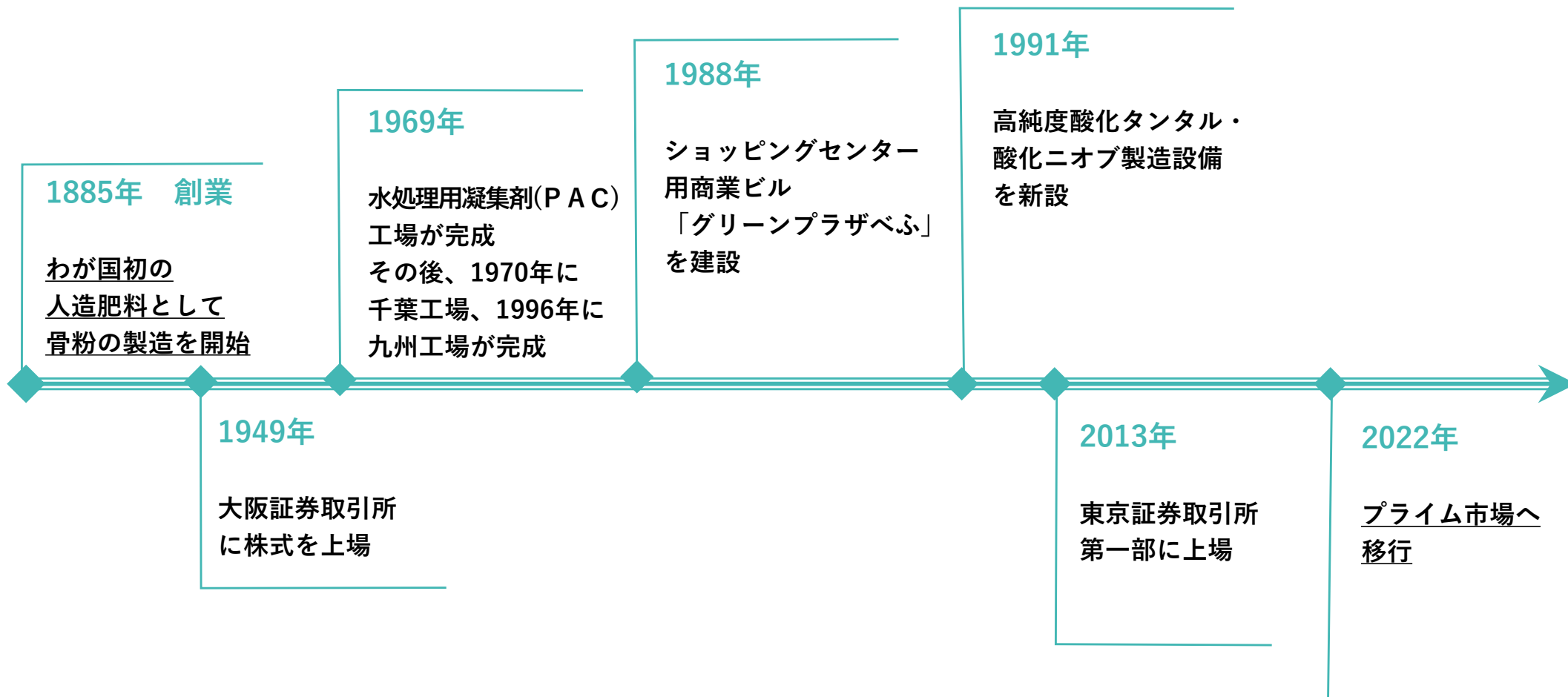
取締役会長  
多木 隆元



代表取締役社長  
多木 勝彦

# 1. 会社概要 – 創業から現在まで –

## 沿革(主な出来事)



創業140年の歴史

# 1. 会社概要

## 数字で見る多木化学

生産拠点

3 箇所

事業所数

6 箇所

資本金※

2,147 百万円

連結総資産※

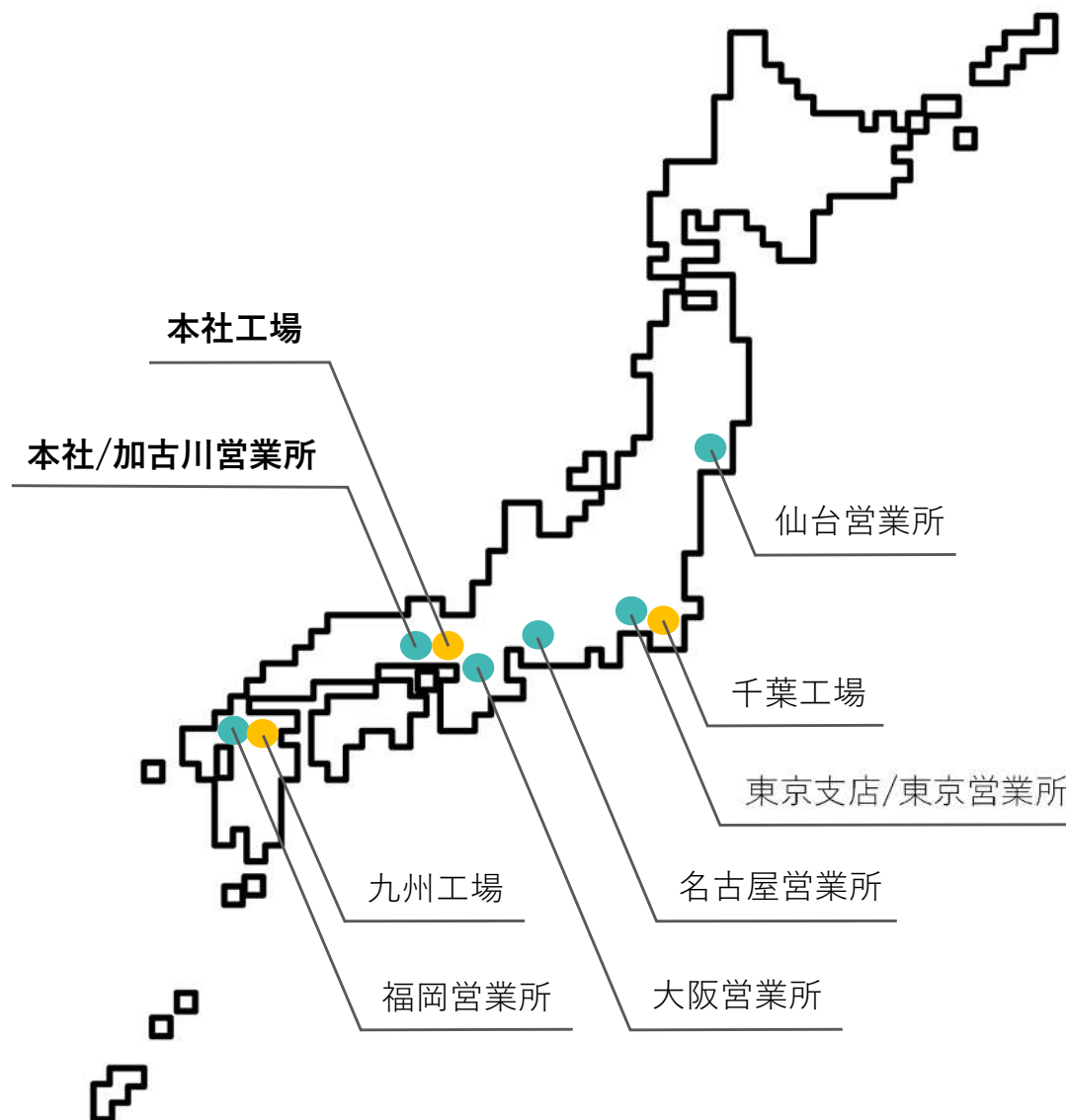
58,402 百万円

取引先数

約 6,000 社

連結従業員数※

604 人



※ 2024年12月末現在

# 1. 会社概要 – グループ概要 –

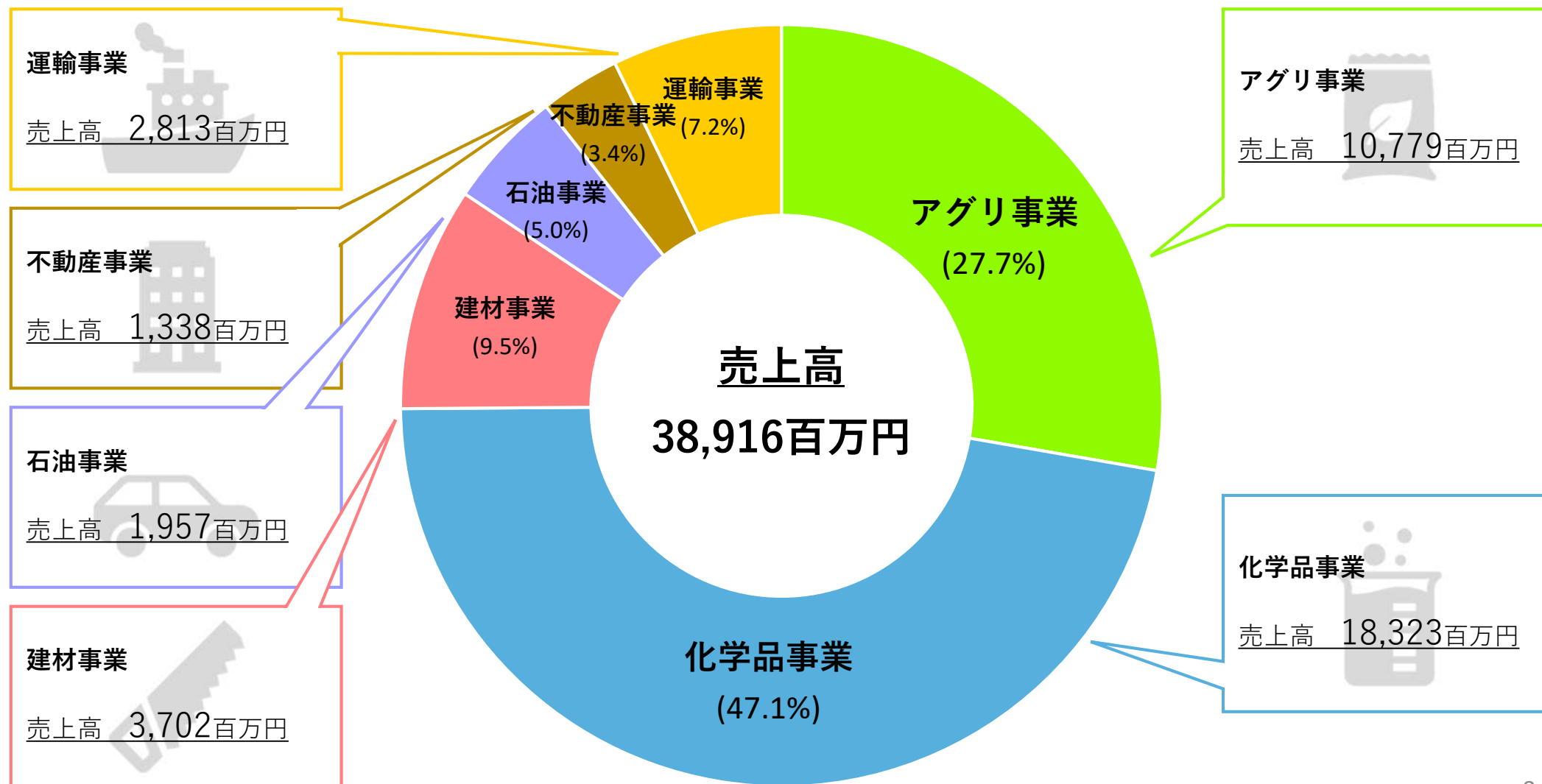
## 事業構成・グループ組織図(2024年12月期)

### 多木化学グループ



# 1. 会社概要 – 事業紹介 –

## セグメント売上高構成比(2024年12月期)



※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならないことがあります。  
また、セグメント間の内部売上高又は振替高を除きます。

# 1. 会社概要 – 事業紹介 –

## セグメント別売上高、利益(連結)※

(百万円)

|                       | 報告セグメント |        |       |       |       |       |        | 調整額<br>(注1) | 連結<br>財務諸表<br>計上額<br>(注2) |
|-----------------------|---------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------------|---------------------------|
|                       | アグリ     | 化学品    | 建材    | 石油    | 不動産   | 運輸    | 計      |             |                           |
| 売上高                   |         |        |       |       |       |       |        |             |                           |
| 外部顧客への売上高 ①           | 10,779  | 18,323 | 3,702 | 1,957 | 1,338 | 2,813 | 38,916 | –           | 38,916                    |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | –       | 66     | –     | 121   | 79    | 502   | 769    | ▲769        | –                         |
| 計                     | 10,779  | 18,390 | 3,702 | 2,079 | 1,418 | 3,315 | 39,685 | ▲769        | 38,916                    |
| セグメント利益 ②             | 230     | 2,086  | 54    | 13    | 736   | 296   | 3,418  | ▲749        | 2,668                     |

## ◆セグメント別売上高利益率

(%)

|                              |     |      |     |     |      |      |     |   |     |
|------------------------------|-----|------|-----|-----|------|------|-----|---|-----|
| セグメント別売上高利益率<br>(調整額含まず) ②/① | 2.1 | 11.4 | 1.5 | 0.7 | 55.0 | 10.5 | 8.8 | – | 6.9 |
|------------------------------|-----|------|-----|-----|------|------|-----|---|-----|

(注) 1. セグメント利益の調整額▲749百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整

# 1. 会社概要 – アグリ事業 –

## セグメント詳細

### 主な事業内容

- ・ 肥料・土壌改良材等の製造・販売



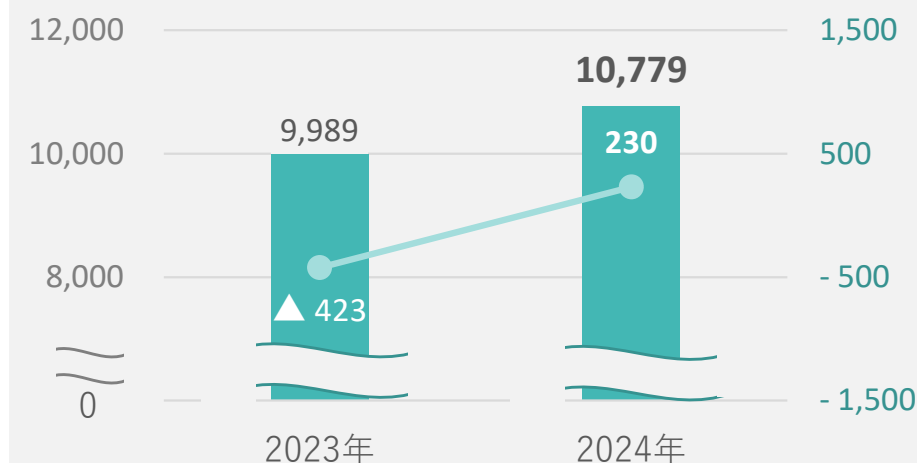
### 当社の強み

- ・ **農事技師による栽培指導**
- ・ 土壌診断に基づく最適な **施肥設計**
- ・ **約600種類の豊富な品揃え**と確かな品質
- ・ 北海道から沖縄まで **全国約1,300の特約販売店網**を通じた販売体制
- ・ 特約店会、技術研修会による情報提供・共有

### アグリ事業 売上高・セグメント利益

売上高：百万円

利益：百万円



# 1. 会社概要 – アグリ事業 –

## セグメント詳細

### 中長期にありたい姿と「中期経営計画2028」における戦略

- ・”Try Agriculture”のもと新たな農業関連事業への挑戦
- ・Stage1(～2030年)ではスラリー工場停止後の生産・在庫・出荷の平準化を確立し、環境に配慮した生産方式への転換を含めた生産体制の検討を進める。環境配慮型製品の上市および自社による作物生産を開始し、生産物のブランディングをめざす

### トピックス

- ・ドローン向け肥料の開発に向けた圃場試験の開示
- ・スマート農業対応の一環として、施肥ハンドブックのデジタル化
- ・プラスチックを原料としない緩効性肥料「エコキープ」をシリーズ化、3銘柄を上市
- ・水稻栽培の中干し期間延長によるメタンガス発生抑制を目的としたJクレジットの取り組みの試験的開始

# 1. 会社概要 – アグリ事業 –

## YouTubeチャンネル「肥料の寺子屋」



### 特長

- ・ 農家様に向けた専門チャンネル
- ・ 肥料の効果的な使用方法を中心に様々な情報を発信



### 多木肥料 肥料の寺子屋

@多木肥料肥料の寺子屋・チャンネル登録者数 2400人・31本の動画

兵庫県加古川に本社を置く、肥料メーカーの多木化学㈱です。...さらに表示

[takichem.co.jp](http://takichem.co.jp)



お米の増収には、「苗作り」が肝



まだ間に合う！春のブドウ園にリン酸の春肥で“根”に...



来年に繋げよう！ブドウの秋肥“お礼肥はお願い肥”



夏場の高温に要注意！

URL <https://www.youtube.com/channel/UHaWsdgZpnzkdTgJLZ-rKwg>

12

# 1. 会社概要 – 化学品事業(水処理薬剤) –

## セグメント詳細

### 主な事業内容

- ・ 水処理薬剤の製造・販売および関連資材の販売

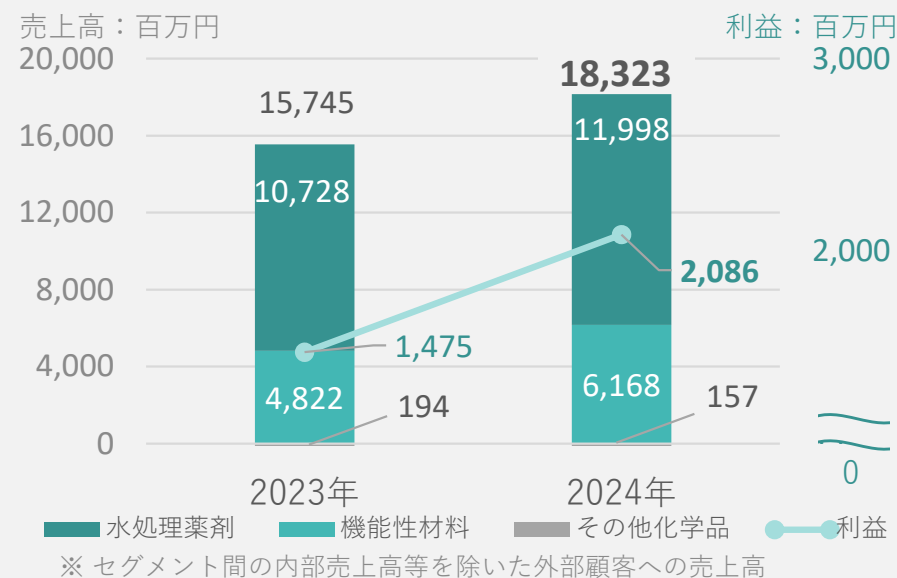


### 当社の強み

- ・ 本社(兵庫)、千葉、福岡の **自社3工場** による生産体制
- ・ SP(ストックポイント)への船出荷などによる広域供給体制
- ・ 官民さまざまな施設への採用実績と適応ノウハウ
- ・ 原水に最適な凝集剤と投入量を提案する **技術営業力**
- ・ 高性能で環境負荷の少ない新規水処理凝集剤

**超高塩基度ポリ塩化アルミニウム(PAC700A)**

### 化学品事業 売上高・セグメント利益※



# 1. 会社概要 – 化学品事業(機能性材料) –

## セグメント詳細

### 主な事業内容

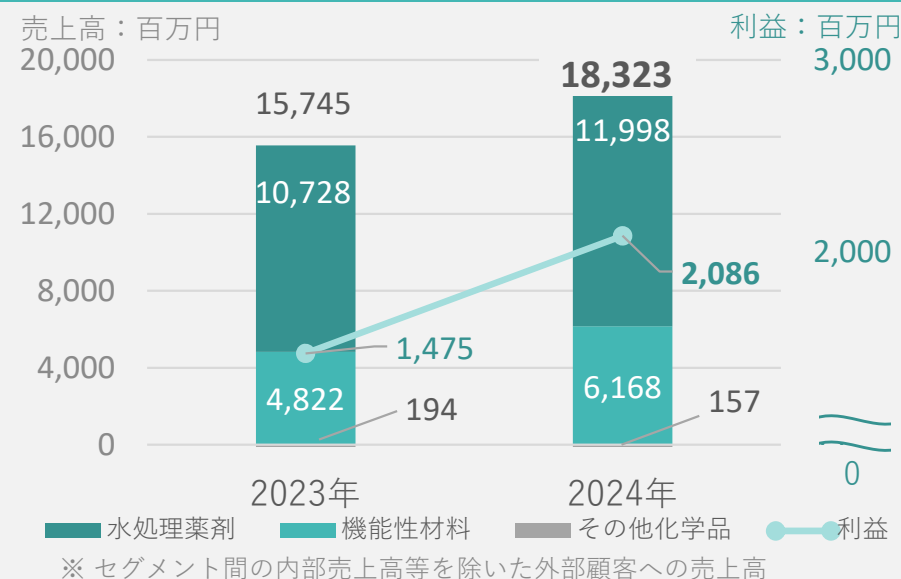
- ・ 各種機能性材料の製造・販売



### 当社の強み

- ・ スマートフォンや自動車排ガス触媒、製鉄、歯磨、医療用材料、化粧品など、**生活インフラ**をはじめとする身の回りの製品の製造に使用される
- ・ 中でも自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムやスマートフォンなどに使用される高純度酸化タンタルは**高いシェア**を有する

### 化学品事業 売上高・セグメント利益※



# 1. 会社概要 – 化学品事業

## セグメント詳細

### 中長期にありたい姿と「中期経営計画2028」における戦略」

- ・ PAC700Aを「環境配慮型製品」と位置付け、水処理用PACの販売数量に占める割合を2030年に50%以上をめざす
- ・ 海外展開について、候補国の水処理状況の把握と薬剤の市場調査を実施
- ・ 機能性材料については、新銘柄の開発と新たな用途探索に取り組む

### トピックス

- ・ 「PAC700A」の本社工場の生産能力を約2倍に増強
- ・ 既存製品における顧客からの増産要請への対応
- ・ 当社で使用する主原料を中心に、リサイクル・  
バイプロダクト原料の探索と利用に向けた生産技術の検討を開始

# 1. 会社概要 – 化学品事業(成長が期待される製品群) –

## セグメント詳細

### 主な事業内容

- ・ 生分解性ポリマー、酸化物ゾル、3重らせんコラーゲンの製造・販売

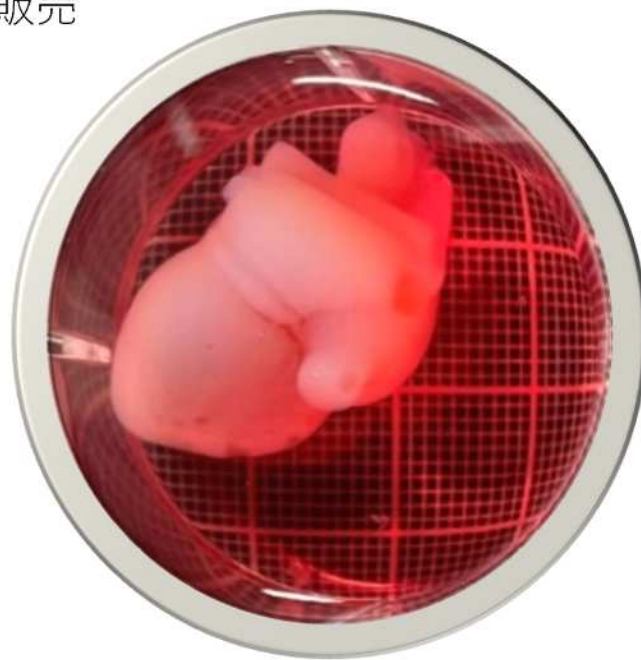
### 当社の強み

- ・ 生分解性ポリマー：**医薬品原料、医療用材料として**  
**最高品質**の高純度生分解性ポリマーを開発、医薬品から医療機器まで幅広い用途に適用可能
- ・ 酸化物ゾル：**ナノサイズの酸化物粒子を分散させた液体**。光触媒、帯電防止、紫外線吸収、バインダー、触媒助剤などのさまざまな機能を付与
- ・ 3重らせんコラーゲン：医療、化粧品、繊維分野の開発

**膜、多孔体、繊維状などの形状に加工可能**

### トピックス

- ・ クオリプス(株)との共同開発で心臓模型を作成、iPS心臓細胞を播種し人工的な拍動に成功。(EXPO2025大阪・関西万博において展示)



iPS細胞を播種したミニ心臓  
※提供:クオリプス株式会社

# 1. 会社概要 – 不動産事業 –

## セグメント詳細

### 主な事業内容

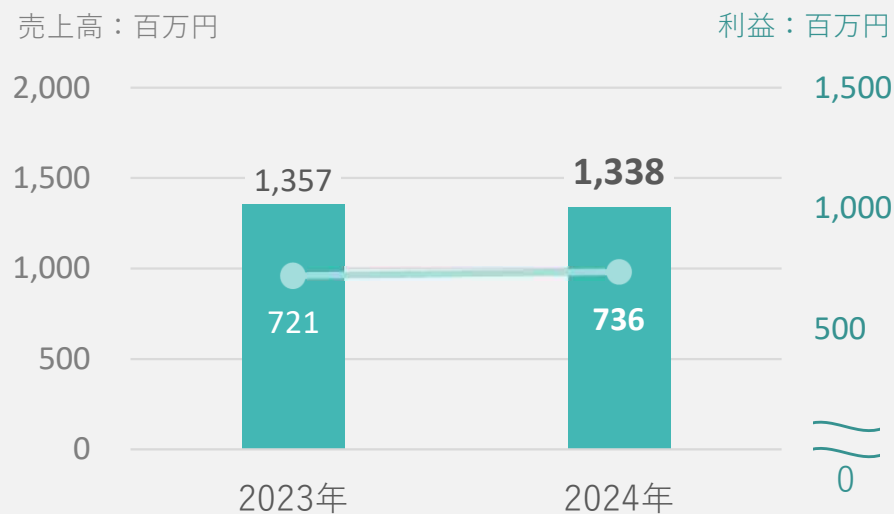
- ・ 商業ビルや不動産の賃貸

### 当社の強み

- ・ **社有地**を活かした不動産開発
- ・ 加古川市南東部エリアの **商業地域の中心**
- ・ 地域のニーズやコミュニティの特性を考慮した **住み続けられるまちづくり**への貢献



### 不動産事業 売上高・セグメント利益※



※ セグメント間の内部売上高等を除いた外部顧客への売上高

# 1. 会社概要 – 不動産事業 –

## セグメント詳細

### 中長期にありたい姿と「中期経営計画2028」における戦略

- ・ 自社開発エリア、コンパクトシティ（ウォーカブルなまち）の構築
- ・ 関連事業への進出による新たな収益と雇用の創出  
（リノベーション事業、フランチャイズ事業への展開など）

### トピックス

- ・ 「べふ未来会議」の発足と、「1 s t ステップ（まちづくりブランディング案）」を策定
- ・ ビジネスホテル「たびのホテル」を誘致（9階建・約170室 2025年秋頃開業予定）

# 1. 会社概要 – その他事業(連結子会社関係) –

## セグメント詳細

### 建材事業：主な事業内容

石こうボードの製造・販売

りん酸液の製造工程で発生する副生石こうや、建築現場からのボード端材の一部を有効活用し、石こうボードを製造・販売



| (百万円)   | 2023年 | 2024年 |
|---------|-------|-------|
| 売上高     | 3,215 | 3,702 |
| セグメント利益 | ▲315  | 54    |

### 石油事業：主な事業内容

石油製品の販売、車検整備

サービスステーションでの石油製品の販売を中心に、自動車の点検・整備・修理および販売を担う



| (百万円)    | 2023年 | 2024年 |
|----------|-------|-------|
| 売上高※     | 1,942 | 1,957 |
| セグメント利益※ | 16    | 13    |

### 運輸事業：主な事業内容

海上および陸上輸送、倉庫業

一般港湾運送事業、港湾荷役業、船運送業、内航海運業、倉庫業、通関業、トラック運送業を担う



| (百万円)    | 2023年 | 2024年 |
|----------|-------|-------|
| 売上高※     | 2,602 | 2,813 |
| セグメント利益※ | 265   | 296   |

※ セグメント間の内部売上高等を除いた外部顧客への売上高 19

# 1. 会社概要 – 多木化学の「〇〇初」 –

化学のチカラで、豊かさを育む

◆日本初の人造肥料の開発に成功



◆世界初の水処理用の無機系凝集剤  
ポリ塩化アルミニウム「PAC」の開発に成功



処理前

処理後

# 1. 会社概要

## 当社ウェブサイト

- ◆当社の最新情報をわかりやすく紹介しています。
- ◆製品・会社紹介のほか、「サステナビリティレポート」や「サステナビリティビジョン2030」などの各種財務・非財務データを掲載しています。



URL <https://www.takichem.co.jp/index.html>

# 本日のご説明内容

---

1. 会社概要

---

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

3. 業績・財務状況

---

4. 株主還元・株価推移

---

5. サステナビリティへの取り組み

---

6. おわりに

---

## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「長期ビジョン2050」

#### ◆多木化学グループの理念とミッション

##### 〈多木化学グループ理念〉

**多木化学グループは創業者精神に則り自然と環境を守り  
確かな価値の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献します**

##### 〈多木化学グループミッション〉

**伝統と革新～100年先も選ばれる企業に**

多木化学グループは、従業員とその家族の物心両面の幸福を追求するとともに、伝統と歴史に裏打ちされた既存事業の深化と革新的な新規事業の開拓により、持続可能な企業として社会へ貢献し続けます。

## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「長期ビジョン2050」

#### ◆多木化学グループのありたい姿

##### 環境、社会、地域に配慮した持続可能な事業戦略の実践

未来予測が困難なVUCA時代、私たち多木化学グループは、2050年のありたい姿を明確化することによって、強みを活かしながら変わりゆく環境に適合してゆきます。環境、社会、地域を戦略の軸として、アグリ、化学品、不動産の3本の柱をさらに深化させるとともに、独創的、革新的な新事業・新商品で、持続可能な企業経営をめざします。



長期ビジョンの課題は、  
より具体的な推進項目として  
中期経営計画に反映

バックキャストिंग

〈2030年〉  
長期ビジョン  
Stage1

〈2050年〉  
多木化学  
グループ  
ビジョン  
ありたい姿

2023年  
実績

中期経営計画  
2028年  
目標

フォーキャストिंग

## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「長期ビジョン2050」

#### ◆戦略イメージ

##### 【アグリ事業】



##### ■ありたい姿

“Try Agriculture ”

##### ■実現したいこと

1. 国内市場の趨勢、カーボンニュートラルを考慮した生産体制の合理化、および肥料生産・栽培ノウハウを生かした海外市場への参入
2. 農産物生産事業への進出と高付加価値作物のブランディング、新たな販売ソリューションの創出

##### 【化学品事業】



##### ■ありたい姿

環境に配慮した化学素材で循環型社会を実現

##### ■実現したいこと

1. 環境配慮型の水処理薬剤の浸透と海外市場への参入
2. 成長マトリクスの展開による機能性材料の事業拡大

## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「長期ビジョン2050」

#### ◆戦略イメージ

##### 【不動産事業】



##### ■ありたい姿

自社開発エリアのコンパクトシティ化

##### ■実現したいこと

1. 自社開発エリアの再開発によるコンパクトシティ化
2. 関連事業への進出による新たな収益機会と雇用機会の創出

##### 【新事業・新商品】



##### ■ありたい姿

“独創性を育むチカラ”で、未来を築く新事業・新商品を開発

##### ■実現したいこと

1. 当社の多彩な研究開発力を拡大・融合し、革新的な商品を開発
2. 産官学連携、M&Aなどあらゆる手段を駆使して社会課題を解決する新事業・新商品を創出

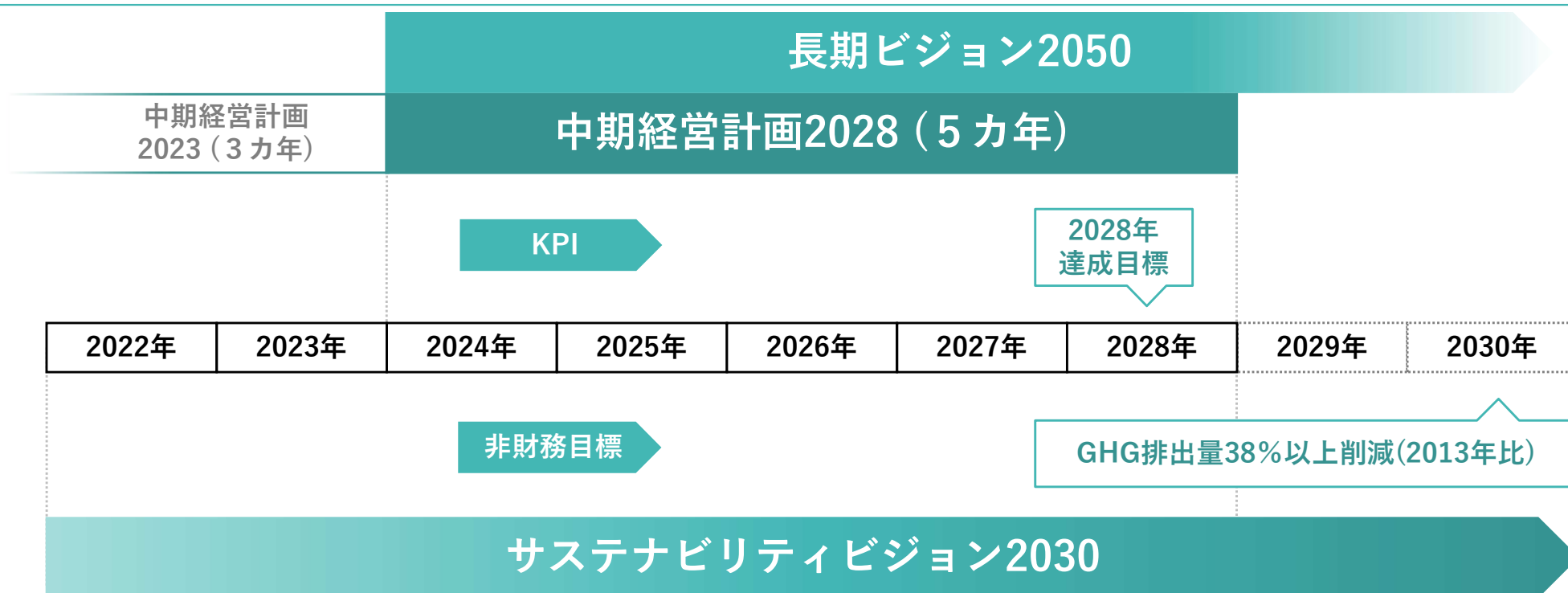
## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「中期経営計画2028」

#### ◆概要

#### ■「中期経営計画2028」のスケジュール

- ・「中期経営計画2028」の達成目標および推進項目は「長期ビジョン2050」からバックキャスト
- ・非財務目標については「サステナビリティビジョン2030」に基づき、気候変動への対応や人的資本への投資などを推進



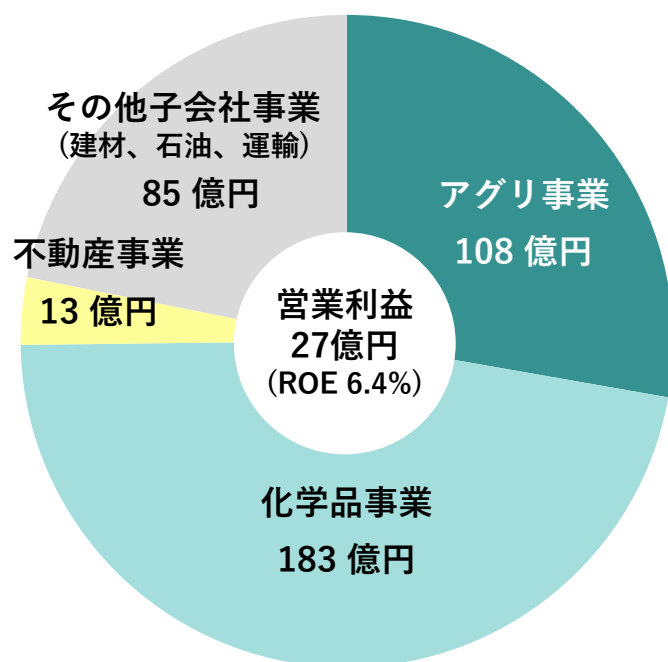
## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「中期経営計画2028」でめざす姿

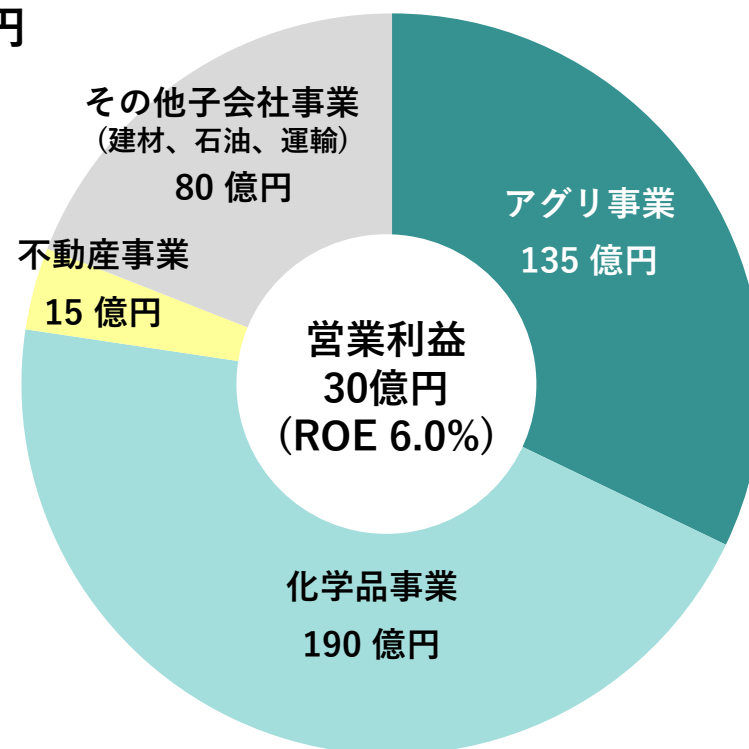
#### ◆セグメント別業績目標

| 達成目標 (2028年) | 売上高 420億円 | 営業利益 30億円 | ROE 6.0%以上 |
|--------------|-----------|-----------|------------|
|--------------|-----------|-----------|------------|

2024年実績(連結)  
売上高 389億円



2028年達成目標(連結)  
売上高 420億円



## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「中期経営計画2028」

#### ◆基本方針

#### 成長事業への積極的投資と新事業の創出

##### ライフサイエンス

- ・医療用材料事業の拡大
- ・コラーゲン事業の確立
- ・バカマツタケの事業化



##### 機能性材料

- ・ナノ材料の拡販
- ・技術革新による新用途、新商品の開発
- ・環境配慮型、社会課題解決型製品の新規開発



##### M&A、海外進出

- ・業務提携による事業拡大
- ・資本提携による多角化
- ・海外市場の開拓



#### 既存事業の深化による収益力向上

##### アグリ事業の継続力強化

- ・生産・販売・在庫の最適化
- ・モーダルシフトの推進
- ・環境配慮型製品の開発
- ・アグリ関連新事業への進出



##### 水処理事業の新展開

- ・超高塩基度PACの市場浸透
- ・新たな環境配慮型凝集剤の開発
- ・原料の安定調達とコスト削減



##### 不動産事業領域の拡大

- ・コンパクトシティ化
- ・リノベーション事業およびフランチャイズ事業への進出検討



## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

### 「中期経営計画2028」

#### ◆基本方針

#### サステナビリティ・トランス フォーメーションの実践

##### 気候変動への対応

- ・省エネルギーの推進
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・サプライチェーンを含めた温室効果ガスの削減
- ・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)への対応



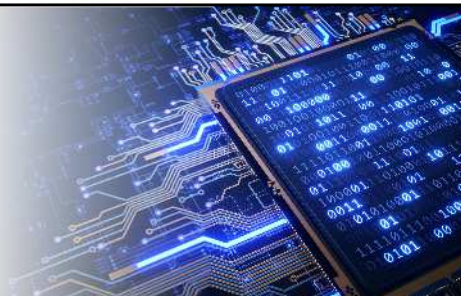
##### 人的資本経営の推進

- ・平等な機会提供と女性活躍の推進
- ・個別キャリアパスの構築と成長促進
- ・継続的スキル開発と最新知識習得のサポート
- ・円滑なコミュニケーションとフィードバック文化の構築
- ・従業員エンゲージメントおよび職場環境の向上、健康経営の促進



##### DXの推進

- ・RPAの活用および生成AIの導入による業務効率化
- ・ITリテラシーの向上
- ・ICTによる情報発信の多様化



#### GRCの推進

##### G：ガバナンス

- ・取締役会の実効性の向上と独立性の確保
- ・適時適切な透明性の高い情報開示の徹底
- ・監査等委員会との連携による監査、監督機能の強化
- ・ステークホルダーとのコミュニケーションの充実
- ・地域社会への貢献



##### R：リスク管理

- ・リスクマネジメント体制の強化
- ・定期的なリスクの見直しによるリスクマップの更新に基づく対応
- ・BCPに基づく事業継続性の強靱化
- ・情報セキュリティの強化



##### C：コンプライアンス

- ・強固なコンプライアンス体制の確立・浸透・強化
- ・内部統制システムの実効性の向上
- ・法令、規制変更への迅速な対応
- ・社内通報制度による問題の早期発見と自浄作用の強化



## 2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

トピックス：洛東化成工業の株式取得(子会社化)について



期待されるシナジー

- ・アグリ分野の微生物関連製品(バイオスティミュラント)による事業拡大
- ・化学品分野の工業用酵素剤による事業拡大
- ・研究開発における微生物培養・酵素技術の応用
- ・海外等販路の活用



多木化学グループ 「長期ビジョン2050」 の戦略

- ・アグリ事業 "Try Agriculture"  
→ アグリ事業の継続力の強化
- ・化学品事業 環境に配慮した化学素材で循環型社会を実現  
→ 水処理事業の新展開・機能性材料
- ・不動産事業 自社開発エリアのコンパクトシティ化  
→ 不動産事業領域の拡大
- ・新事業・新商品 "独創性を育むチカラ"で、  
未来を築く新事業・新商品を開発

M & A

海外市場  
開拓

# 本日のご説明内容

---

1. 会社概要

---

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

---

3. 業績・財務状況

---

4. 株主還元・株価推移

---

5. サステナビリティへの取り組み

---

6. おわりに

---

### 3. 業績・財務状況

#### 2024年12月期 業績概要(連結)

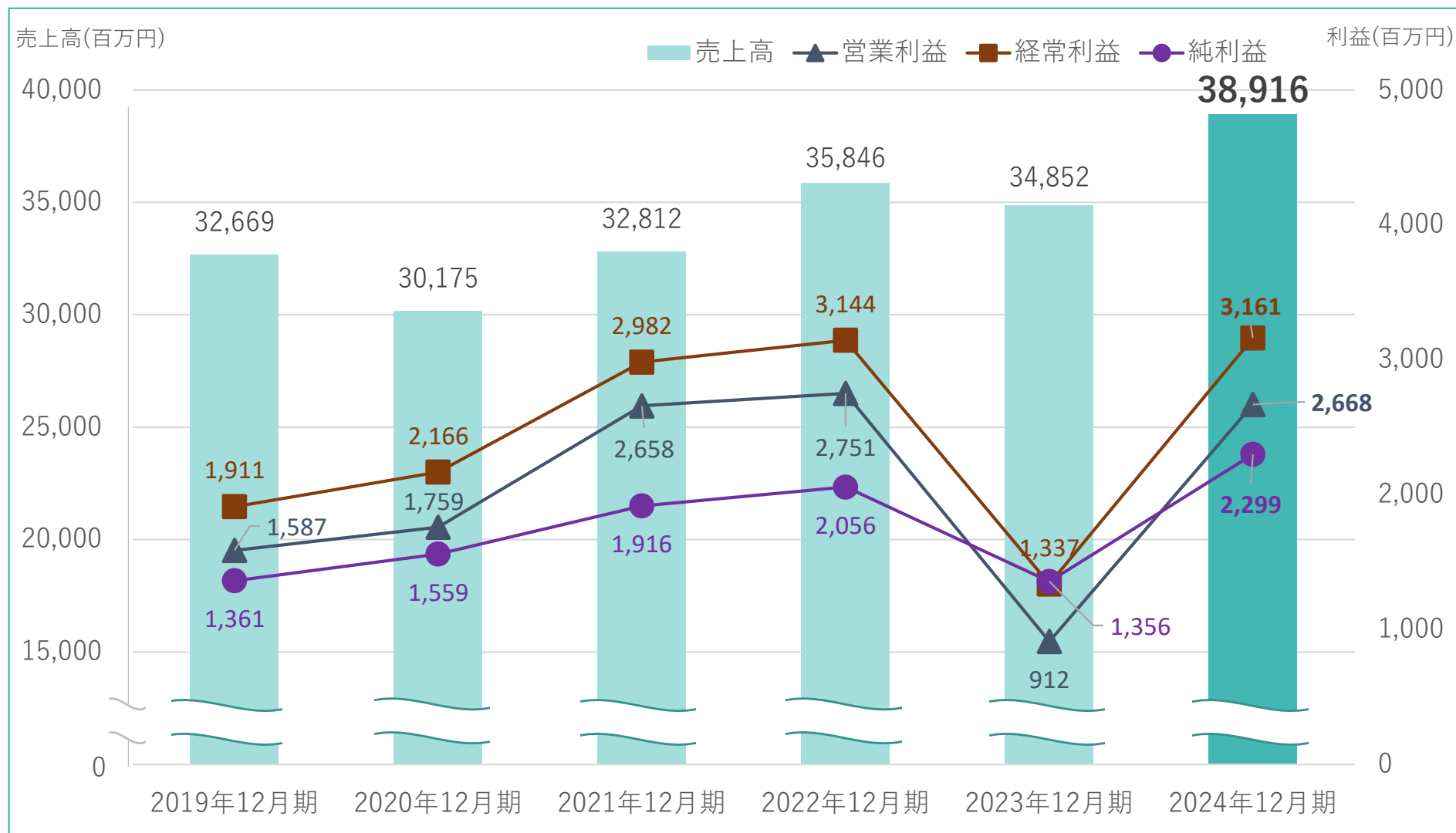
(百万円)

|                     | 2023年12月期 | 2024年12月期 | 前期比    |         |
|---------------------|-----------|-----------|--------|---------|
|                     |           |           | 増減額    | 増減率     |
| 売上高                 | 34,852    | 38,916    | +4,064 | +11.7%  |
| 営業利益                | 912       | 2,668     | +1,755 | +192.3% |
| 経常利益                | 1,337     | 3,161     | +1,823 | +136.4% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,356     | 2,299     | +942   | +69.5%  |

- ◆売上高は、前期比+4,064百万円（+11.7%）の増収。
- ◆営業利益は、前期比+1,755百万円（+192.3%）の増益。
- ◆経常利益は、前期比+1,823百万円（+136.4%）の増益。
- ◆親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比+942百万円（+69.5%）の増益。

### 3. 業績・財務状況

#### 2024年12月期 業績概要(連結)



### 3. 業績・財務状況

#### 主要経営指標等※1

自己資本当期純利益率  
(ROE)

6.4%

有形・無形  
固定資産  
の増加額

1,878百万円

総資産経常利益率  
(ROA)

5.8%

減価償却費

1,244百万円

売上高営業利益率

6.9%

EBITDA※2

4,519百万円

※1 2024年12月末現在(データは連結)

※2 「税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

### 3. 業績・財務状況

#### キャッシュ・フロー関連指数 ※

自己資本比率

64.9%

キャッシュ・フロー対有利子負債比率

0.6年

時価ベースの自己資本比率

50.1%

インタレスト・カバレッジ・レシオ

347.2倍

※ 2024年12月末現在(データは連結)

# 本日のご説明内容

---

1. 会社概要

---

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

---

3. 業績・財務状況

---

4. 株主還元・株価推移

---

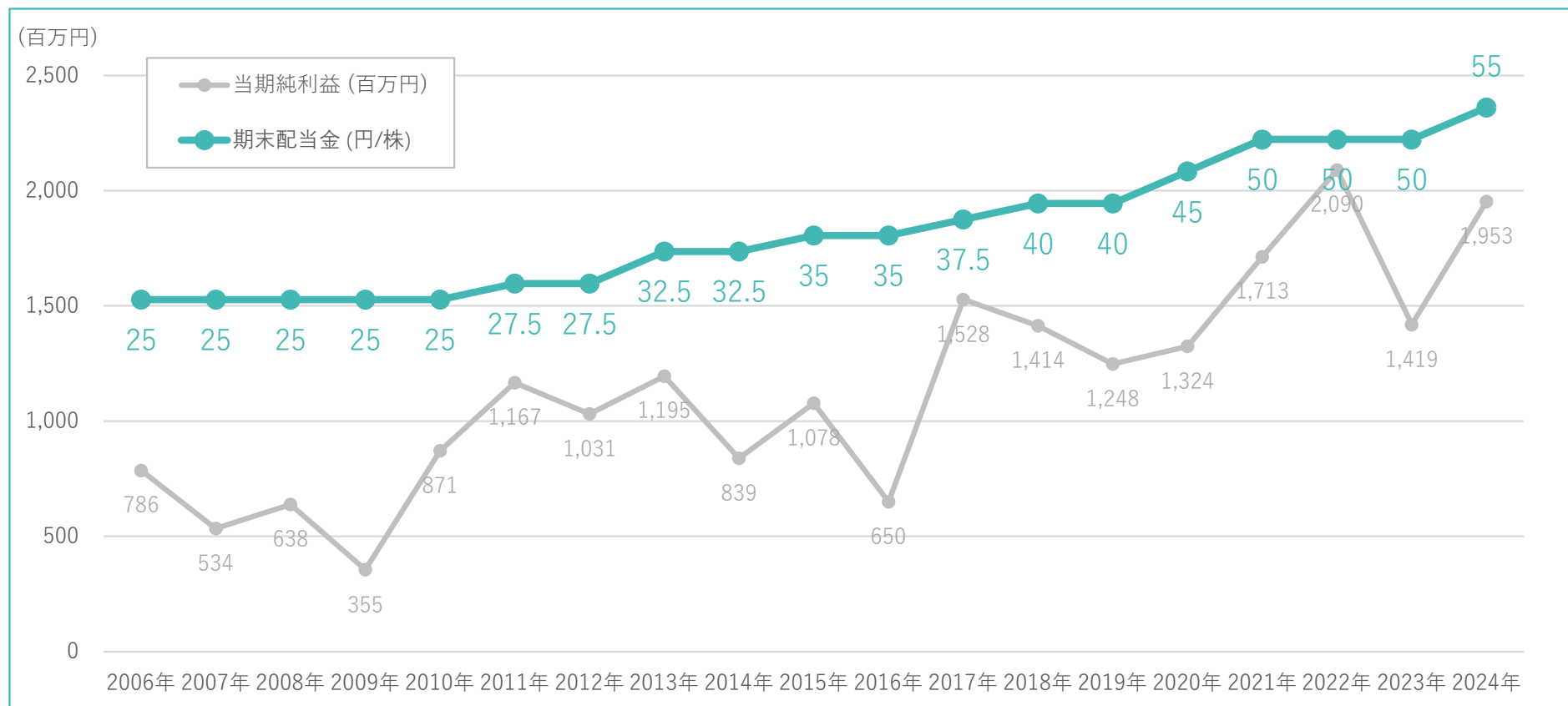
5. サステナビリティへの取り組み

---

6. おわりに

---

## 4. 株主還元・株価推移



### ——過去20年間の安定配当

2017年7月1日に普通株式5株を1株とする株式併合、2019年1月1日に普通株式1株を2株とする株式分割を実施。それぞれ2005年の期首に行われたものと仮定して算定しております。

## 4. 株主還元・株価推移

### 株主優待制度

#### ◆対象株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元以上の株式を保有されている株主様

#### ◆優待内容

定時株主総会終了後の毎年3月下旬に、決議通知等とともに次の基準の保有株式数に応じて、クオ・カードを贈呈させていただきます。



※絵柄は変更となる場合があります。

| 保有株式数        | 優待内容            |
|--------------|-----------------|
| 400株以上       | クオ・カード(3,000円分) |
| 100株以上400株未満 | クオ・カード(1,000円分) |

## 4. 株主還元・株価推移

### 株価チャート



URL <https://www.nikkei.com/smartchart> (日経スマートチャートプラス提供)

# 本日のご説明内容

---

1. 会社概要

---

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

---

3. 業績・財務状況

---

4. 株主還元・株価推移

---

5. サステナビリティへの取り組み

---

6. おわりに

---

# 5. サステナビリティへの取り組み

## マテリアリティと重要課題

| マテリアリティ                      | 関連するSDGs                                                                             | 重要課題                                                                             |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1.持続可能な地球環境への貢献              |    | ①気候変動への対応<br>②サーキュラーエコノミーの推進                                                     |
| 2.製品・サービスを通じた環境と社会への貢献       |    | ③新製品・新技術の研究開発<br>④環境配慮型、社会課題解決型製品・サービスの提供                                        |
| 3.人的資本経営の推進                  |    | ⑤人権尊重と働きやすい職場づくり<br>⑥人材育成とダイバーシティの推進<br>⑦業務効率化と生産性向上                             |
| 4.ステークホルダーエンゲージメントの向上とGRCの推進 |  | ⑧ステークホルダーエンゲージメントの向上<br>⑨ガバナンス（G）の強化<br>⑩リスクマネジメント（R）の強化<br>⑪コンプライアンス（C）体制の維持・強化 |

# 5. サステナビリティへの取り組み

## 人材の価値を最大限に引き出す人的資本経営

人的資本

多様な人材の確保

総務人事部担当  
代表取締役上席専務執行役員  
正木 貴久



従業員エンゲージメント調査による課題の可視化

施策推進

- ・ジョブローテーション
- ・パーソナリティ診断
- ・1 on 1 ミーティング
- ・従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度の導入



- ・教育制度の充実  
→次世代の経営幹部養成研修
- ・人事制度の見直し  
→キャリアパスの明確化など
- ・女性活躍推進委員会の設置

人材ポートフォリオに基づいた適材適所の人材配置

価値創出

組織強靱化・従業員の幸福度向上

**企業価値最大化**

# 本日のご説明内容

---

1. 会社概要

---

2. 長期ビジョンおよび中期経営計画

---

3. 業績・財務状況

---

4. 株主還元・株価推移

---

5. サステナビリティへの取り組み

---

6. おわりに

---

## 6. おわりに



# ご清聴ありがとうございました。

---

※本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。当然、予想と違う結果となることを十分にご認識の上ご活用ください。